

令和5年度第1回岡崎市学校給食センター運営委員会 会議録

1 開催日時

令和5年8月7日（月） 13時00分から

2 開催場所

岡崎市役所福祉会館 2階 201号室

3 議題

学校給食費について

4 報告

- (1) （仮称）岡崎市西部学校給食センターの開業時期の延期について
- (2) 牛乳パックの形状変更について

5 出席委員

中立 香	（岡崎市小中学校現職研修委員会学校給食部会部長・本宿小学校長）
伊豫田 守	（岡崎市小中学校現職研修委員会学校給食部会部長・連尺小学校長）
小野 隆義	（岡崎市小中学校現職研修委員会学校給食部会部長・岩津中学校長）
金田 雅代	（女子栄養大学名誉教授）
瀬尾 智子	（岡崎市医師会理事）
永井 伸幸	（岡崎歯科医師会副会長）
守谷 みのり	（岡崎市学校薬剤師会長）
片岡 博喜	（岡崎市保健所長）
本田 直美	（岡崎市 PTA 連絡協議会書記）
藤井 勝	（岡崎市 PTA 連絡協議会会計）
天野 綾香	（公募）
山内 瑠美	（公募）

6 傍聴者

0名

7 説明のために出席した職員

教育部長	二村 雅志
教育政策課長	鈴木 浩文
教育政策課副課長	伊豫田 浩行
学校給食センター所長	宮瀬 和之
学校給食センター所長代理	川合 弘晃

教育政策課給食施策係係長 尾崎 諭
教育政策課給食施策係主査 林 裕美
教育政策課給食施策係主事 瀬川 翼

8 議事の要旨

議題 学校給食費について

(事務局) 昨年度の学校給食費改定に係る経緯、今年度の食材料費の動向等を説明。

(会長) 事務局より、学校給食費について説明があった。このことについて、御意見、御質問などはあるか。

(委員) 他自治体の状況を確認すると、刈谷市が小学校 250 円、中学校 280 円で公費負担が 0 円である。他市は公費負担をしており、食材料費も刈谷市より高いケースがほとんどだが、刈谷市はなぜ公費負担 0 円で給食を提供できているのか。

(事務局) 食材料費を確認したのが昨年度になるが、刈谷市は公費負担をしていることが確認できなかったため、0 円と表記している。実際にはそれぞれの自治体によって予算の仕組み等、示し方が違うため公費負担という表現をしていないだけかもしれない。

(委員) 小学校 250 円、中学校 280 円だと提供するにあたり厳しい状況だと思うが、そのような理解で良いか。

(事務局) 事務局としても同じように考えている。

(委員) 他自治体の状況にある食材料費を見ると、パンや牛乳は単価が決まっているため自治体によって差が生じないが、おかずについては地域によって物価が違ふことや内容が違ふため、金額に差が生じる。事務局は献立が自治体によってどのように違ふのかを調べると良いと思う。

(事務局) ご指摘いただいたように献立の内容は各自治体で異なるため、今後は献立の差異についても把握したうえで示したい。

(委員) 令和 6 年度に保護者へ負担をお願いする値上げ分は今年度の物価高騰分である小学校 14 円、中学校 15 円を想定しているのか。

(事務局) 物価高騰分を保護者負担額へ反映させたいと考えているため、12 月まで見極めた上で決めたいと考えている。現状では、小学校 247 円、中学校 286 円に小学校 14 円、中学校 15 円を足した金額あたりを最低ラインと想定している。

(委員) 公費負担の増額は考えていないのか。

(事務局) 既に実施している消費税相当分と栄養価充足分については堅持したいと考えているが、増額は難しいと考えている。

(委員) 令和 4 年度の物価高騰分については令和 6 年度からは保護者へ負担をお願いするということか。また、食材料費のみを保護者へ請求しているとの

ことだが、最近では学校給食に対して要望が多いように感じる。例えば地産地消のように地域の食材を使用してくださいといった要望が議会でもあったが、食材料費が高くなってしまう。そういった分についても含めていくのか教えてほしい。

(事務局) 令和4年度の物価高騰による小学校7円、中学校11円については、令和5年4月より小学校240円から247円、中学校275円から286円へ改定したが、物価高騰分については国の交付金を充てているため、令和5年度について保護者負担額は変わっておらず、令和6年度から物価高騰分を含めた金額を請求する旨を案内している。しかし、令和5年度も引続き食材料費が高騰していることを踏まえ、令和6年度からは小学校247円、中学校286円から更に値上げした金額を請求したいと考えている。

全国的に学校給食へ地産地消や有機食材といったことも出てきている。食材料費の保護者への負担は法的に決められているため、保護者へ負担をお願いするのが原則となるが、一律でいくら負担をお願いするといったことは現時点では示しづらい状況である。

(委員) 保護者の方々が今年度から小学校247円、中学校286円に改定されたことを理解しているかどうかで、来年度の値上げのインパクトが大きく感じるのではないかと。再度周知徹底をしてもらい、給食費の状況を理解してもらったうえで来年度の値上げに踏み込まないと誤解を招くことになるのではないかと。

(事務局) 令和5年4月に各家庭に通知したが、紙1枚の通知のため、すべての保護者に認識いただけていない可能性もある。意見を踏まえて、保護者の方に理解いただけるよう事務を進めていきたい。

(委員) 給食費は口座振替か。

(事務局) 原則口座振替で行っている。

(会長) 学校現場では4月に給食費の改定についてプリントを配布したが、教員ですら認識していない者もいる。今後の周知方法について考えていく必要があると感じた。保護者の方々はどうか。

(委員) 昨今の物価高騰による保護者負担が上がることに對しては十分理解できるが、物価高騰に対する保護者負担の軽減があれば教えてほしい。

(事務局) 公費負担については今後も継続していきたいと考えている。また、何かしらの形で負担軽減に繋がることも考えていきたいが、現時点で具体的に案内することはできない。

(事務局) 保護者への配慮といった話もあったが、令和6年度には物価高騰分を保護者へ負担をお願いすることになるため、保護者への説明や周知を校長先生方の意見を伺いつつ、進めたい。

(委員) 実質値上げがないので、保護者の認識は低いと思う。今年度は国の交付金を使用しているため保護者負担額が変わっていないことを再度周知して

も良いと思う。保護者の負担や食材料費等課題はあると思うが児童・生徒は給食をととても楽しみにしており、学校へ登校することが難しい児童・生徒でも給食の献立によっては登校することがある。最近では物価高騰もあり栄養士が苦労して献立を作成していることもあってか、給食が寂しいと感じるときがある。児童・生徒の楽しみである給食の質が下がってしまうのは、学校現場としては防いでほしい。1食あたり10円～20円の値上げならば、1ヶ月で200円～400円程度。値上げすることで質が確保され、児童・生徒が楽しみと感じる給食が提供できるならば、学校からも保護者へお願いしたいと思う。

(委員) 教育委員会が保護者へ給食費としていただいている内容をもう一度伝えるべきだと思う。学校給食法が施行されたときから、食材料費は保護者負担、人件費や光熱水費等は公費で負担すると決まっている。

先ほど給食が寂しいと感じるときがあるといった意見があったが、栄養士はまずデザート等の子どもが好物とする物の提供をやめることが多い。食材料費としていただいたお金を十分に生かした美味しい給食を食べてもらえるよう食材料費について保護者へ案内すれば良いと思う。また、毎年値上げすると事務作業的にも苦労することがあるため、ある程度先を見据え値上げしても良いと思う。全国の自治体の食材料費と比べても高い金額ではない。

(会長) 他に御意見、御質問はあるか。御意見や御質問が無いので、続いて報告1へ移る。

報告1 (仮称) 岡崎市西部学校給食センターの開業時期の延期について

(事務局) 池田遺跡発掘調査の工期延長により(仮称)岡崎市西部学校給食センターの開業時期が令和7年1月へ変更したことについて説明。

(会長) (仮称) 岡崎市西部学校給食センターの開業時期の延期について御意見や御質問はあるか。御意見や御質問が無いので、続いて報告2へ移る。

報告2 牛乳パックの形状変更について

(事務局) 牛乳パックの形状が2学期より変更となることについて説明。

(会長) 牛乳パックの形状変更について御意見や御質問はあるか。御意見、御質問が無いので、以上で本日の議事はすべて終了とする。